

平成 28 年 12 月 5 日（月）港区役所 講堂にて認知症専門部会主催の「認知症サポーターフォローアップ交流会」を開催しました。当日は約 90 名もの認知症サポーターの方にご参加いただき、若年性認知症について学んでいただくとともに、認知症カフェの紹介やグループワークを通じて、参加者同士の交流を図りながら、今後の活動に向けた話し合いを行っていただきました。



交流会の概要

① 若年性認知症 当事者のお話

名古屋市認知症相談支援センターの鬼頭氏と、名古屋市若年性認知症本人・家族交流会「あゆみの会」より若年性認知症のご本人とご家族の方にご登壇いただき、お話をさせていただきました。

認知症になっても、ご家族同士が認め合い、ご本人のできることを尊重し、支えあっておられるのがよく分かり、ご本人が、毎日を穏やかに楽しく暮らされているのが伝わってくるほど、笑顔でお話をくださいました。認知症の方を支援するのに必要な、ご家族の心がまえや姿勢がよく分かりました。また、認知症になっても、ご本人はボランティアなどの社会的役割や活動の場を求められており、支え・支えられる地域づくりの必要性が分かりました。

② 認知症カフェの紹介・グループワーク

港区内にある 7 か所の認知症カフェの運営者の方にご登壇いただき、それぞれのカフェのご紹介をいただきました。また、認知症サポーターとの交流を深めていただくため、グループワークでは、各カフェの運営者の方に認知症サポーターのテーブルに入ってもらい、テーマに沿って情報交換をしていただきました。グループワークでお話いただいたテーマは以下のとおりです。

- (1) 認知症サポーター養成研修後、何か取り組んでいることはありますか？
- (2) どのような場所があると参加しやすいと思いますか？
- (3) 認知症サポーターとしてできることは何かありますか？